

令和元年度 安全大会を開催

～ 大分市中央消防署から救急法 大分中央警察署から交通法令講習 講師を招いて受講 ～

7月1日、大分森林管理署会議室において、本署、各森林事務所所属職員出席のもと令和元年度安全大会を開催しました。はじめに、坂本大分森林管理署長から、本年度の安全週間にあたり、『重大災害の絶滅』、『ゼロ災の達成』、『心とからだの健康』の保持増進』の3点を本年度の健康安全重点目標として取り組んでいるところです。林野庁のスローガン(当署:工藤行政専門員作品)のとおり、技術と一緒に心のセンサーをさらに磨いて、健康で災害のない明るい職場作りに引き続きみんなで取り組もうと挨拶。挨拶のあと、原田九州森林管理局長からのメッセージを坂本署長が代読して出席者に周知を行いました。また、多数応募(61点)のあった安全標語の中から、多くの共感を得た入選作6点の発表を行いました。

つづいて、一般救急講習として、大分市中央消防署から紙渡さん、坂田さん、古庄さん3名を講師に招き、救急法の講習をいただきました。大分市中央消防署管内の現状の説明があり、救急出動回数は年間約19,000回、心肺蘇生は年間約400回と説明がありました。また、救急車の要請では「傷病者の確実な場所」を伝えて欲しい、その時点で出発し救命に向かうと救命体制の説明がありました。その後、胸骨圧迫方法を実演をいただき、初動の協力要請、AEDの使用方法を学びました。

交通法令講習では、大分中央警察署から齊藤交通安全係長を招き、大分県内の交通事故発生状況、交通事故の形態の分析の説明がありました。交通事故では、高齢者が関わる「車対車」、「車対人」、「自過失」の事故が増加傾向にある。安全不確認、速度超過などが原因となっている現状を学びました。車を運転する場合は、「認知」、「判断」、「運転操作」するが、想定外のこともあり得るので危険予知も考えて事故がないように安全運転をお願いしたいと説明がありました。

締め括りとして、田吹技官が「安全大会宣言」を読み上げ、木下技官が「ゼロ災コール」を行って、本年度の大分森林管理署ゼロ災を目指して取り組むこととしました。



安全旗掲揚



坂本 大分森林管理署長 挨拶



大分市中央消防署による講習



大分中央警察署による交通法令講習

令和元年度 安全標語入選作

- 新たな元号 新たな気持ち 初心を忘れずゼロ災害 引地 修一
- 山の道 急いで登るな 足下注意 危険個所は回り道 夏田 豪介
- やったつもり 「つもり」が積もり積もって 事故を呼ぶ 園田 敏明
- 運転マナーに自信あり? ドラレコは他車とあなたの行動をしています 工藤 昭二
- うまくやるより確実に 早くやるより安全に 一步先読む危険予知 永田 豊
- イライラ・カツカは事故のもと! 深呼吸で危険を回避! 佐藤 昭晴

安全大会初日の様子



【安全旗掲揚 坂本 大分森林管理署長(中央)】



【安全標語入選作表彰 夏田行政専門員】



【胸骨圧迫実演 上之段森林整備官】



【大分中央警察署 齊藤交通安全係長】



【安全大会宣言 田吹技官(左)、永田次長(右)】



【ゼロ災コール 木下技官(中央)】